

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	23220
政策名 (章)	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします	評価担当課	市民部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 安心して暮らせるまちづくり		交通安全課
施策名	犯罪のないまちづくり	課長名	座間文夫

1 施策の概要・目的

犯罪のない明るい社会の実現をめざし、犯罪の発生を未然に防止するため、防犯意識高揚の啓発や自主防犯活動の促進を図る。

2 施策の現状

相模原・相模原南連合防犯協会、各地区の防犯団体、警察等が連携し、防犯活動に取り組んでいるものの、犯罪発生件数は増加傾向にあり、今後とも継続的に取り組んでいく必要がある。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

165,849 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

269 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 75 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.95 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	防犯灯整備補助金交付率 補助金交付件数 ／補助金申請件数×100	補助金交付状況から 各地区における防犯 灯の充足度を見る	100 % 単位	0 50 100	100	目標年度
			100 % 単位		100%	達成度
指標2	防犯灯数の県下市部平均との比較 (市街化区域1平方kmあたり) 本市設置数－県下市部平均設置数	本市の防犯灯普及 状況を見る	44 灯 単位	0 50 100	100	目標年度
			1以上 灯 単位		100%	達成度
指標3	防犯活動団体組織率 防犯活動団体組織地区数／18地区 ×100	各地区における防犯 団体の組織率から地 域での防犯活動状 況を見る	100 % 単位	0 50 100	100	目標年度
			100 % 単位		100%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

市内で発生する犯罪のうち、特に窃盗犯の発生割合が8割以上を占めている中で、「犯罪のないまちづくり」のためには、警察による取締りや検挙に次いで、市民の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動の実践が有効な対策であり、今後も継続的に実施して行く必要がある。

6 有効性…期待される効果があがっているか

当施策の実施によって減少する犯罪件数を検証する手段はなく、その有効性を客観的に判断することは困難である。しかしながら犯罪発生件数が増加傾向にあることから、防犯意識・自警意識をさらに高めていく必要がある。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

市民の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動の実践が、防犯上、有効な対策であることから、より効果的な啓発手法の検討・導入は必要であるが、地道に啓発活動を継続していくことが重要である。

また、防犯灯の設置や維持管理についても、夜間の防犯対策上、必要不可欠なものであり、代替策はない。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

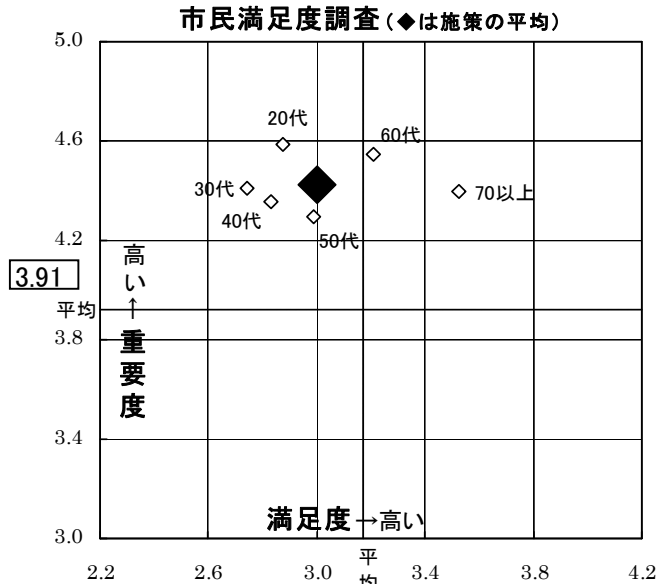
◆この施策の満足度は、3.003で、調査した51施策の中で47番目です。

◆この施策の重要度は、4.426で、調査した51施策の中で2番目です。

◆この施策の改善要望度は、1.006で、調査した51施策の中で2番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30歳代で最も低くなっています。重要度は20歳代で最も高く、50歳代で最も低くなっています。20歳代～40歳代の比較的若い層で改善要望が高くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「○総合計画における位置付け等」参照)

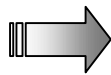


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

市民の防犯意識の高揚や自主防犯活動の展開にあわせ、警察官によるパトロールや取締りの強化も重要な要素であり、交番の増設や警察官の増員など、県レベルでの取り組みを要請して行く必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

市民の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動の実践に向け、事業は継続して行く必要があり、より効果的な啓発活動を展開するため、ホームページの有効利用等、新たな啓発手段の導入について検討する。

11 2次評価

説明

<input checked="" type="checkbox"/> A	市民の身近な犯罪に対する不安が高まっており、行政、警察、地域、関係団体等の連携を強化するとともに、今後のまちづくりにおいては安心・安全の視点を取り入れるなど、総合的な安心・安全のまちづくり施策を展開すること。
<input type="checkbox"/> B	
<input type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

市民満足度調査において改善要望度が高い事業であるため、関係機関等と協力するとともに市の事業として何が出来るのか積極的に検討し、安心・安全なまちづくりを更に進める必要がある。

施策名	犯罪のないまちづくり
-----	------------

施策コード	23220
-------	-------

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
連合防犯協会補助金	交通安全課	14	29,596	0.50	A	B	A	B	A	B	A	/	継続	1
防犯灯設置費補助金	交通安全課	15	33,397	0.25	AA	A	A	A	/	/	A	A	継続	2
防犯灯維持管理費補助金	交通安全課	15	102,856	0.20	AAA	A	A	A	/	/	A	A	継続	管理

合計	<table border="1"><tr><td>3</td></tr></table> 事務事業	3	<table border="1"><tr><td>165,849</td><td>0.95</td></tr></table> 千円 人	165,849	0.95	平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性
3						
165,849	0.95					